



BUSINESS REPORT

第26期 株主通信

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

CONTENTS

ごあいさつ	P1
財務ハイライト	P2
セグメント情報	P3
TOPICS	P7
業績および配当の予想／中長期の成長	P9
株式の状況	P10

成長分野での事業の立上げと、 既存事業の収益性改善に 全力で取組みます。

代表取締役 兼 社長執行役員
杉本 重人



2023年3月期 決算のご報告

当連結会計年度における世界経済は、欧米での一部銀行の破綻に端を発した不安定な金融情勢、およびインフレ抑制のための金融引き締めとの関連で難しい舵取りを強いられています。日本においては、日米金利差の拡大等から、為替は大きく変動しました。中国はコロナ関連規制の解除から持ち直しの動きが見られるものの、世界経済全体としては、先行きへの不透明感が一層強まりました。

当連結会計年度の当社グループの連結業績につきまして、売上高は431億4千6百万円(前期売上高514億1千8百万円)、営業利益は9億8千6百万円(前期営業利益54億6千1百万円)、経常利益は17億円(前期経常利益58億6千8百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は2億6千万円(前期親会社株主に帰属する当期純利益41億9千8百万円)となりました。

当連結会計年度の当社グループの受注金額は、370億7千2百万円(前期532億円)となりました。この結果、当連結会計年度末の受注残高は366億4千7百万円(前期427億2千1百万円)となりました。

FPD市場の低迷から事業環境が悪化したFPD装置事業は、減収減益となりました。一方、半導体・フォトマスク装置事業の売上は堅調でしたが、新製品・新工場の立上げに関わる一時的な費用の発生により、減益となりました。この結果、全社の業績は、大幅な減収減益となりました。

今後は、半導体・フォトマスク装置事業等、成長分野での新事業・新製品の立ち上げを急ぐと同時に、既存事業の収益性の改善にも全力で取組みます。

引き続き、株主の皆様のご期待に添えますよう、大いなる志とあふれる情熱で、世界最高のイノベーションを創造し、社会に貢献していく所存です。

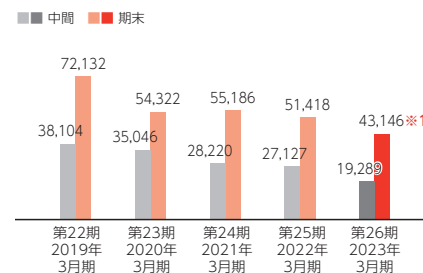
株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2023年6月

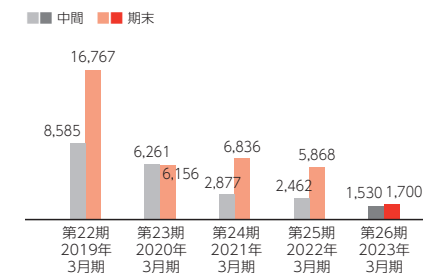
代表取締役 兼 社長執行役員 杉本重人

財務ハイライト(連結)

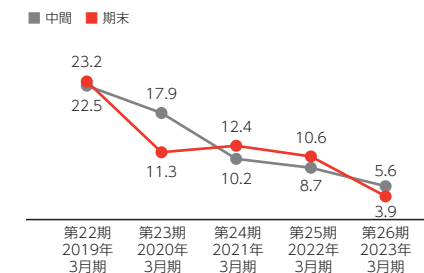
売上高 (百万円)



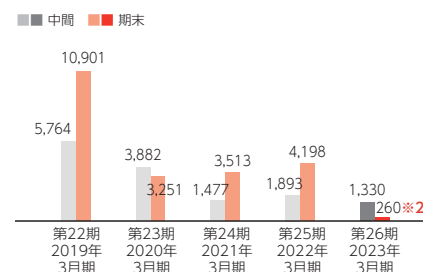
経常利益 (百万円)



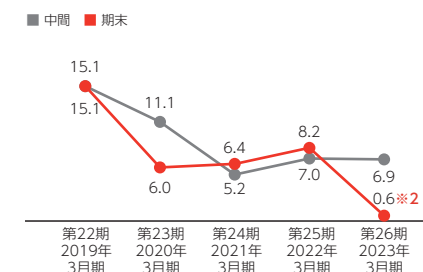
経常利益率 (%)



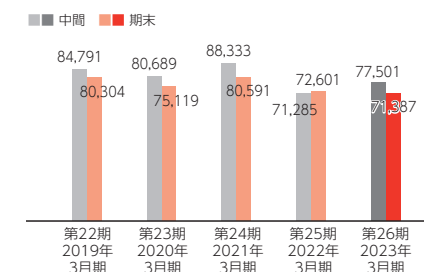
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



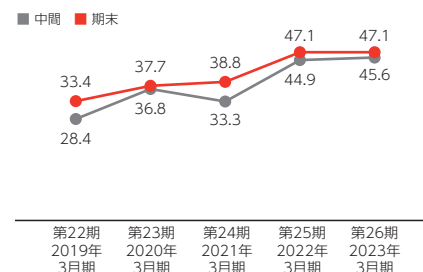
親会社株主に帰属する当期純利益率 (%)



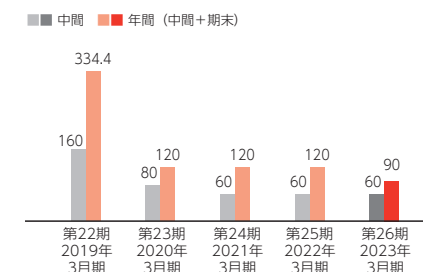
総資産 (百万円)



自己資本比率 (%)



配当 (円)



POINT

- ※1 売上高
パネル市況悪化等の影響からFPD装置事業の売上が大幅減
- ※2 親会社株主に帰属する当期純利益
蒸着マスク製造関係の固定資産を減損処理した影響から特別損失(約9億円)を計上

半導体事業・フォトマスク装置事業

概況

半導体の市況は、足元では一部の用途向けで悪化したものの、当社グループに関連する設備投資は概ね堅調に推移しました。売上はウェハ検査装置の販売が堅調で前期比+7.2%となりました。一方、利益は、新製品・自社工場製造立上げの影響で一時的に費用が増加し前期比▲54.2%となりました。

シリコンウェハ製造

● 研磨装置



● 検査装置

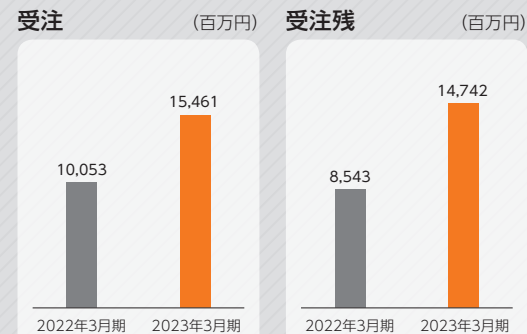
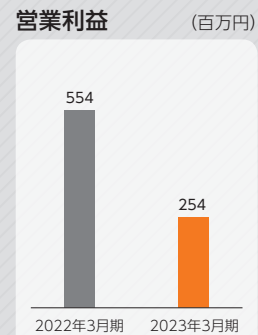
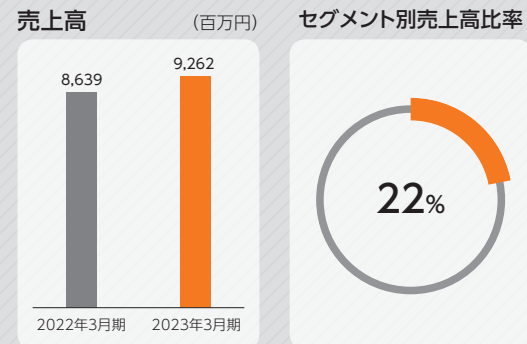


半導体デバイス製造

● マスクライター



● コーター・デベロッパ



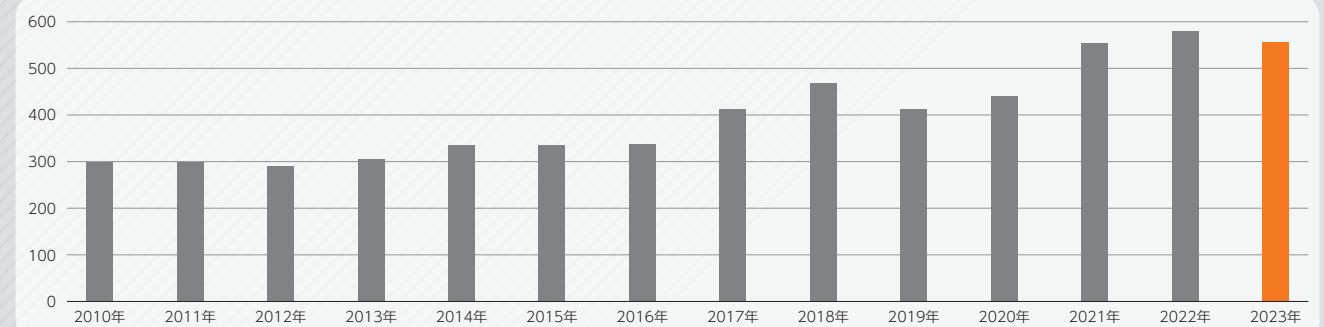
今後について

1 | 事業環境と今後の取組

GX(グリーントランスフォーメーション)やDX(デジタルトランスフォーメーション)を背景に半導体市場の中長期的な成長が期待されています。半導体製造装置に対する需要についても拡大が続いており、受注残は前期比で+72.6%となりました。

2023年度も引き続き、当社グループの成長を牽引する第2の事業の柱とするべく半導体関連事業の成長を軌道に乗せる為の様々な施策を重ねてまいります。

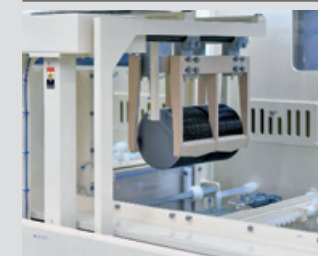
WSTS 半導体市場予測



2 | ジャパンクリエイト株式会社(JAC社)の子会社化

2023年1月に、JAC社を子会社化いたしました。同社の洗浄装置や成膜装置を、シリコンウェハ製造プロセスや、研究・試作用途で製品提案に活用できる事、当社グループの研磨装置と検査装置の間に入る洗浄工程向けの製品を手掛けている事、また技術開発上のシナジー創出が期待できる事などから、同社をグループに迎えました。半導体・フォトマスク装置事業の今後の展開に是非ご期待ください。

● 洗浄装置



● 成膜装置



FPD装置事業

■ 概況

フラットパネルディスプレイ (FPD) 装置事業においては、FPD価格の低迷が続く中、設備投資計画の見直しの動きが確認され、装置の市場は低迷しました。この結果、売上高は、装置の販売が低迷し、大幅に減少しました。また、利益は、販売減に加え、製品ミックスが悪化した事などから、急減しました。

LCDおよびOLED製造

● 露光装置



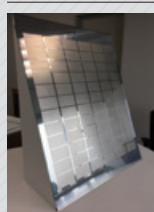
● 欠陥修正装置



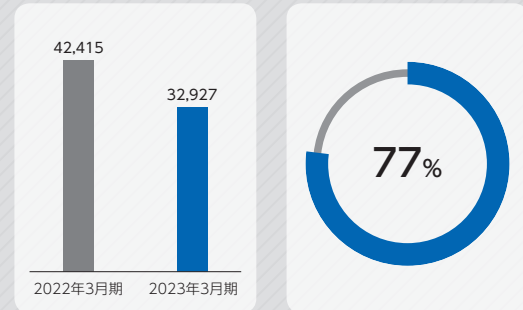
● OLEDサルベージ



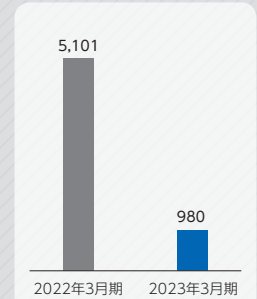
● OLED蒸着マスク



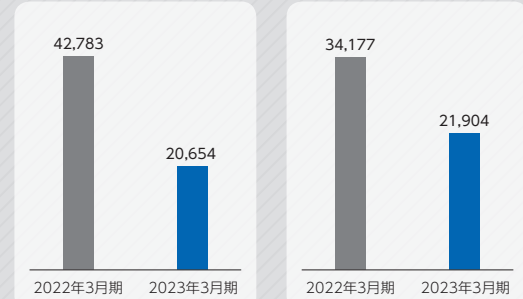
売上高 (百万円) セグメント別売上高比率



営業利益 (百万円)



受注 (百万円) 受注残 (百万円)



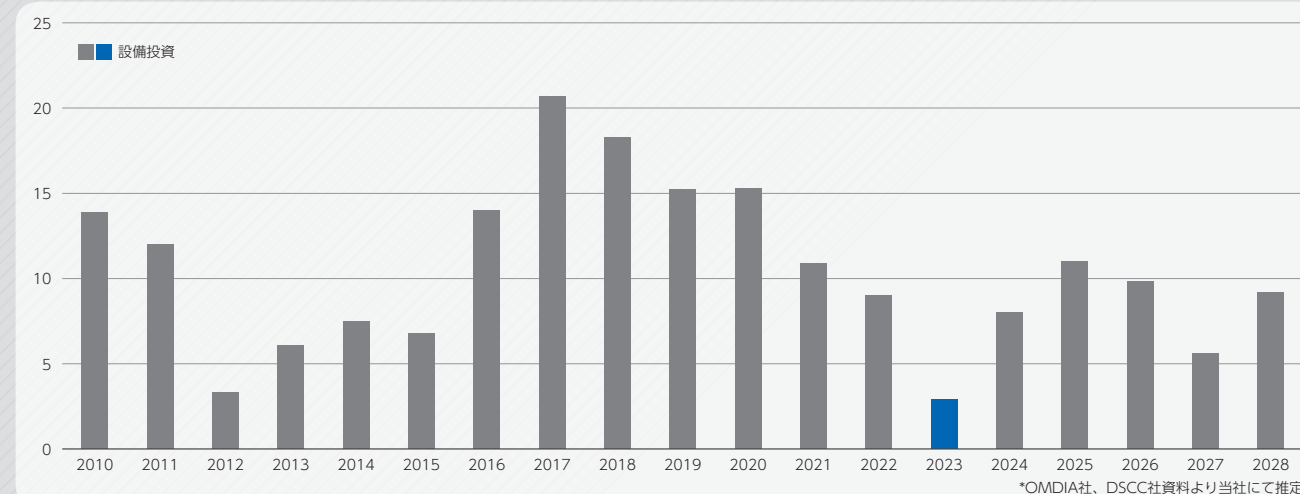
今後について

1 | 事業環境と今後の取組

2023年のFPD製造装置市場は、2012年を下回り過去最低を記録すると見込まれます。この影響を受け、本セグメントの2023年度の売上・利益について前期比で減収減益を見込んでおります。

FPD設備市場の売上推移

左軸: 設備投資 (10億USD)



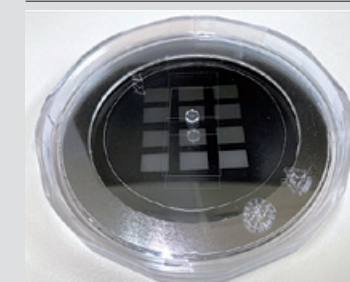
2 | 電鍍マスクの製造を開始しました

将来の情報化社会を支える重要なツールとしてウェアラブル端末での使用が想定されるVR/AR用のマイクロディスプレイが注目されています。

蒸着マスク製造を担うブイ・イー・ティー社は、5000ppiを超すウルトラファインな電鍍マスクの製造開発に成功しました。

今後は、既に販売がスタートしているファインハイブリッドマスクの中型OLDE向けの需要開拓に加え、今回販売を開始した超高精細電鍍マスクの販売、およびスマートフォン向けマスクの販売を加速してまいります。

● 5000ppi対応電鍍マスク



女子柔道部のウェブサイトを開設しました

活動状況や、大会結果などを公開しています。また、インスタグラムでも日々の活動をご紹介しますので、是非ご覧ください。

女子柔道部について

柔道部の理念

高き「志」と熱き「情熱」をもった、感動と勇気を届けられる柔道家を目指して。

多くの方に応援される柔道家の育成をコンセプトに選手の成長を親身にサポートし、実業団日本一、そしてオリンピックメダリスト輩出を目指します。

概要

57kg級の選手として、世界選手権優勝、全日本選抜体重別選手権で4回、講道館杯で3回の優勝経験、また2021年には全日本体重別で準優勝する等、豊富な経験と実績を持つ宇高奈絵選手兼監督が、若い選手達の気持ちに寄り添いながら、チームを率います。

2022年度に参加した主な大会、他

- 5月 全日本強化選手選考会、全日本実業柔道団体対抗大会
- 8月 全日本実業柔道個人選手権大会
- 10月 国民体育大会、講道館杯（63kg嘉重選手ベスト8）
- 1月 神奈川県柔道選手権大会
- 2月 全日本シニア柔道体重別選手権大会（52kg級新城選手準優勝）
- 3月 関東女子柔道選手権大会

日々の活動はこちら



国内でのトマト生産が本格的にスタート

アグリ事業部を新設しました

中国にてアイメックフィルムを用いたトマトの生産と販売をすでに開始しておりますが、国内の3拠点での生産開始を機にアグリ事業部を新設、国内での事業を本格的にスタートしました。

既存の商流に加え、直販にも取り組むと共に、農業生産を効率化する技術開発についての取組も加速してまいります。

ネット通販

楽天市場にて「Vトマト」として御殿場産トマトの販売を開始しており、楽天ランキング1位を獲得しています。



農場

千葉農場、横須賀イノベーションセンターの試験農場に加え、御殿場農場での生産が本格化しています。



千葉農場



横須賀イノベーションセンター



御殿場農場

2024年3月期の業績および配当の予想について

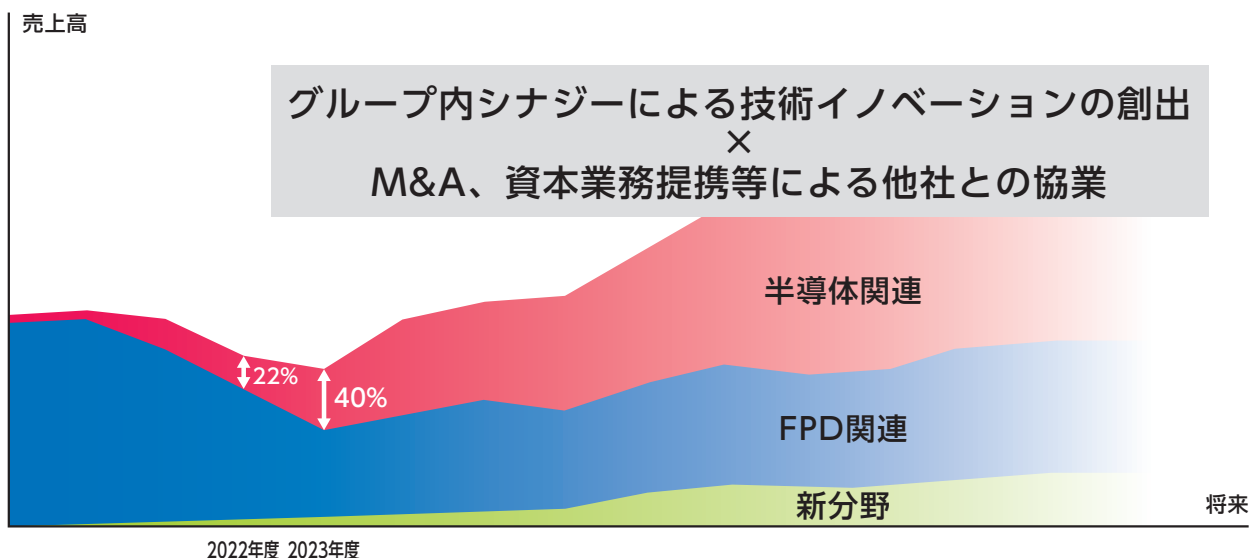
当社グループの事業について、FPD装置事業においては、設備投資について2024年からの回復が期待されますが、2024年3月期については、LCD関連の設備投資一巡の影響を受け、前期比で大幅な減収減益が見込まれます。

半導体・フォトマスク装置事業においては、半導体関連装置の需要は、足元のデバイスの景況感は種類により濃淡がありますが、当社製品については、シリコンウェハ検査装置やフォトマスク検査装置等に対して一定の需要が見込まれており、FPD装置事業の落込みの下支えが期待されています。

このような状況を踏まえ、2024年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高40,000百万円(前期比7.3%減)、営業利益1,000百万円(前期比1.4%増)、経常利益850百万円(前期比50.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益550百万円(前期比111.3%増)を見込んでおります。また、年間配当につきましては60円(上期30円、下期30円のお支払)を予想しております。

中長期の成長

成長分野における事業の立上げと既存事業の収益性の改善に取り組みます。具体的には(1)第2の事業の柱としての半導体関連事業の発展(2)現在の事業基盤であるFPD関連事業の収益性改善と差別化、(3)社会課題解決型ビジネスへの立上げ(農業、SiC、他)といった課題の解決に関する施策を粘り強く実行し、グループの持続的な成長を実現します。



株式の状況 (2023年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 35,180,600株
- 発行済株式総数 10,057,600株
- 株主数 9,141名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数	持株比率
杉本重人	1,174,600株	12.0%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,169,400株	11.9%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	428,523株	4.4%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	119,700株	1.2%
JP MORGAN CHASE BANK 385781	108,171株	1.1%
株式会社SBI証券	87,426株	0.9%
モロフジ株式会社	80,000株	0.8%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE STICHTING BLUE SKY GROUP (TTF)	79,000株	0.8%
S S B T C C L I E N T O M N I B U S A C C O U N T	76,453株	0.8%
ブイ・テクノロジー社員持株会	69,500株	0.7%

当社は自己株式256,231株を保有しておりますが、上記から除いております。また、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

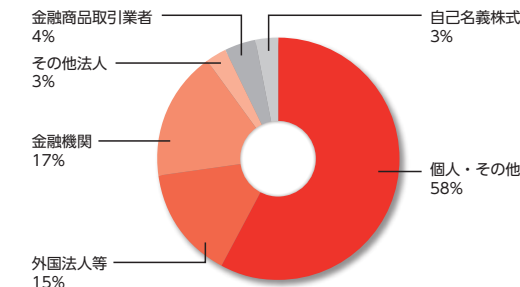
株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 配当金受領株主確定日
 - ・期末配当金 3月31日
 - ・中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
 - ・同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 - ・同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (証券コード 7717)
- 公告の方法 電子公告とします。但しやむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。公告掲載の当社ホームページアドレス <https://www.vtec.co.jp>

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

●株式所有者別分布



会社概要 (2023年6月27日現在)

社 名 : 株式会社ブイ・テクノロジー
設 立 : 1997年10月16日
本 社 所 在 地 : 横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークウイーストタワー9F
TEL : 045-338-1980 FAX : 045-338-1781

取締役会

代 表 取 締 役	杉 本 重 人
取 締 役	天 日 和 仁
取 締 役	神 澤 幸 宏
取 締 役	城 戸 淳 二
取 締 役	西 村 豪 人

※城戸淳二および西村豪人は社外取締役です。

監査役会

常 勤 監 査 役	中 原 有 庸
監 査 役	住 田 勲 勇
監 査 役	宇 田 賢 一
監 査 役	阿 比 留 修

※宇田賢一および阿比留修は社外監査役です。

執行役員

社 長 執 行 役 員	杉 本 重 人
専 務 執 行 役 員	神 澤 幸 宏
常 務 執 行 役 員	米 澤 良
常 務 執 行 役 員	天 日 和 仁
常 務 執 行 役 員	水 村 通 伸

執 行 役 員	天 野 勇
執 行 役 員	松 元 康 博
執 行 役 員	伊 藤 行 男
執 行 役 員	大 淵 一 人
執 行 役 員	飯 野 仁
執 行 役 員	張 尚 敦

執 行 役 員	後 藤 順
執 行 役 員	菅 井 健
執 行 役 員	羽 森 寛
執 行 役 員	芳 賀 一 実
執 行 役 員	新 井 敏 成

WEBサイトのご案内

ニュースリリースや各種資料がご覧いただけるほか、新事業やESG等の取組みについて多数掲載しています。ぜひご覧ください。

TOPページはこちら



IR情報ははこちら

